



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファインデックス  
コード番号 3649 URL <https://findex.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相原 輝夫  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 矢澤 隆弘 TEL 03 (6271) 8958  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,989	2.0	803	△2.4	825	△1.9	563	△2.6
2025年12月期第1四半期	1,951	△8.1	823	△4.5	841	△2.8	578	△10.1

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 554百万円 (△2.7%) 2025年12月期第1四半期 569百万円 (△12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	23.07	—
2025年12月期第1四半期	22.53	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	6,956	5,678	81.1	231.27
2025年12月期	6,807	5,467	79.9	222.91

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 5,645百万円 2025年12月期 5,440百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	8.00	—	14.00	22.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	13.00	—	14.00	27.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,209	1.6	1,829	2.2	1,889	2.6	1,302	3.6	53.34

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	26,608,800株	2025年12月期	26,608,800株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	2,199,665株	2025年12月期	2,200,265株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	24,408,989株	2025年12月期 1 Q	25,662,649株

(注) 期末自己株式数には、日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2026年12月期 1 Q 131,600株、2025年12月期 132,200株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2026年12月期 1 Q 131,746株、2025年12月期 1 Q 138,076株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(追加情報) .....	9
3. 補足情報 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、企業理念である「価値ある技術創造で社会を豊かにする」を実現するために、医療現場や世の中のニーズに沿った高品質なソリューションを、逸早く開発・提供していくことが不可欠であると考えております。「新しい発想・技術の探求」を基に「モノ創りの喜びを感じられる研究開発」を推進し、「お客様の期待を上回り、社会の発展に貢献する製品」を提供してまいります。こうした不断の取組を通じて持続的な成長を果たし、以て中長期的な企業価値・株主価値の向上を実現することを、経営の基本方針としております。

また、当社グループは、従業員の健康増進及び働きがいの向上に向けた取り組みを継続して進めており、2026年3月に「健康経営優良法人」の認定を継続して取得いたしました。

当第1四半期連結累計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）の経営成績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	増減額	増減率	通期業績予想 達成率
売上高	1,951,584	1,989,888	38,304	2.0%	32.0%
営業利益	823,532	803,702	△19,829	△2.4%	43.9%
経常利益	841,158	825,116	△16,042	△1.9%	43.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	578,294	563,130	△15,164	△2.6%	43.3%

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,989,888千円（前年同期比2.0%増）、営業利益803,702千円（同2.4%減）、経常利益825,116千円（同1.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益563,130千円（同2.6%減）となりました。通期業績予想に対する達成率は、売上高で32.0%、営業利益で43.9%、経常利益で43.7%、親会社株主に帰属する四半期純利益で43.3%です。

当第1四半期連結累計期間は、医療ビジネスにおける売上が堅調に推移したことに加え、ヘルステックビジネスにおいて医療データプラットフォーム事業の売上を計上したことにより、増収となりました。利益面では、「成長戦略と株主還元方針」に示したオーガニック成長の強化のため、ヘルステックビジネス部門を中心に戦略的な増員を実施したことで人件費が増加し、各利益は前年同期を下回りましたが、将来の収益基盤の拡充に向けた計画通りの進捗です。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別（連結）の経営成績は、以下のとおりです。

《医療ビジネス》

(単位：千円)

	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	1,741,883	1,822,281	80,398	4.6%
営業利益	740,069	778,240	38,170	5.2%

医療ビジネスセグメントの主力製品は、医療機関のDXを支援する画像ファイリングシステム「Claiο」や診療記事記載システム「C-Note」、文書作成システム「DocuMaker」です。従来のオンプレミス型製品に加え、病院DXを推進する患者案内アプリ「PiCIs Medical Avenue」や電子トレーシングレポートサービス「PiCIs AAdE-Report」など、クラウドサービスの拡充も図っております。

当第1四半期連結累計期間は、病院案件21件、診療所案件24件の新規導入・追加導入及びシステム更新を実施し、当セグメントの経営成績は、売上高1,822,281千円（前年同期比4.6%増）、営業利益778,240千円（同5.2%増）となりました。増収増益の主な要因は、安定的なシステム更新需要と新規ユーザー獲得による増収、保守・クラウドサービスの拡大や高付加価値製品の構成比上昇及び仕入高の減少により原価率が低下したことと粗利率が向上し、収益性の向上が進んだことです。

大規模病院の収益向上やコスト削減を支援するクラウドサービス「PiCIs」シリーズや、当社子会社であるフィッティングクラウド株式会社の生成AIを活用した医療文章生成ソリューション「CocktailAI」が引き続き高く評価され、当第1四半期においても導入件数は順調に増加しました。また、クリニックを対象としたクラウドサービス「DocuMaker Cloud」のユーザー数も増加し、無料から有料プランへの切り替え実績も順調に積み上がっております。デジタル領域では、公式X（旧Twitter）の情報発信強化に加え、Instagramアカウントを新設し、潜在顧客であるクリニック層へのアプローチを強化しました。

現在厳しい経営環境に置かれている病院が多いなか、当社製品は医療現場に欠かせないシステム・サービスとして、直近継続率は98%超の高い利用継続率を維持しています。また、当社のクリニック顧客の多くは経営状況が安定している診療科で構成されている事に加え、病院顧客においては急性期病院が中心であることから、安定した顧客基盤のもと堅実な事業運営を実現しております。

《公共ビジネス》

(単位：千円)

	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	189,802	103,038	△86,763	△45.7%
営業利益	133,119	32,021	△101,097	△75.9%

公共ビジネスセグメントの主力製品はクラウド型DXソリューションの「DocuMaker Office」です。公共機関・自治体向けには高機能かつ優れたUI/UXを持つ電子決裁・公文書管理システム、医療機関事務部門向けには病院機能評価にも強い業務の自動化を備えた事務書類作成管理、電子決裁システムで構成されています。

当第1四半期連結累計期間は、自治体向けパッケージが9件、医療機関向けパッケージが1件稼働し、当セグメントの経営成績は、売上高103,038千円（前年同期比45.7%減）、営業利益32,021千円（同75.9%減）となりました。ストック収入は前年同期を上回って推移したものの、前年同期に大型案件の売上寄与があった反動により、減収減益となりました。

自治体向けパッケージは、例年よりも早くプロポーザルが実施される案件が多く、当第1四半期連結累計期間に直販案件3件及び代理店案件2件を受注しました。現場のニーズを汲み取った導入作業により、4月稼働の全ての案件で安定運用を実現し、その他の案件についても鋭意導入を進めております。営業活動にも精力的に取り組む、当年度及び次年度稼働の新規案件の商談が複数進行しております。また、医療機関向けパッケージについても導入に向けた案件が順調に進捗しており、新たな引き合いも着実に増加しております。

サービス開始以来、自治体向けパッケージは累計64件、医療機関向けパッケージは累計14件が稼働し、総利用者数は約48,000人に達しています。サービス開始以来の解約数は0件であり、前年度に引き続き順調に顧客基盤を築いております。当社の提案力及び製品力が高く評価されていることから、今後も着実に案件数は増加し、事業規模も拡大していく見込みです。

《ヘルステックビジネス》

(単位：千円)

	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	19,898	64,568	44,670	224.5%
営業損失(△)	△49,656	△6,559	43,096	-

ヘルステックビジネスセグメントは、視線分析型視野計「GAP」(注1)及び「GAP-screener」(注2)の開発・販売を中心とする医療機器関連事業と、医療データの利活用等を推進する医療データプラットフォーム事業により構成されています。

当第1四半期連結累計期間における視線分析型視野計の製品販売台数は1台となりました。また、当第1四半期連結累計期間より医療データプラットフォーム事業の売上を当セグメントに含めていることから、当セグメントの経営成績は、売上高64,568千円（前年同期比224.5%増）、営業損失6,559千円（前年同期は49,656千円の営業損失）となりました。医療データプラットフォーム事業におけるコンサルティング及び受託開発により増収増益となった一方で、医療機器申請の準備が進むMCI（軽度認知障害）検査装置の開発費や、医療バイタルデータを分析するAIアナリティクスチームの拡充に伴う人件費など、先行投資による費用も発生しました。

「GAP」及び「GAP-screener」は、従来の検査手法とは全く異なるアプローチを用いて視野を測定することで可用性を高めた、安価で画期的なウェアラブルデバイスであり、初期の自覚症状に乏しい緑内障などの網膜疾患の早期発見率の向上に寄与します。本製品は、これまで検査の際に必須であった暗所の確保を不要とし、検査時間の短縮や患者の負担軽減を実現しました。さらに、健診施設での利用を通じて網膜疾患初期の視野データを取得・分析し、それらを国内外の研究開発機関と共有することで、製薬や生命保険領域など様々なフィールドでの技術・サービス革新への寄与が期待されます。

製品販売においては、全国各地の眼科医療機器販売代理店を通じ、眼科病院・クリニックへ向けては「GAP」を販売するとともに、健診施設へ向けては「GAP-screener」を販売しています。国内向けには利便性とサポートサービスの向上を目的に保守プランの提供を開始し、各販売代理店に対するインセンティブプランを導入するなど、販売促進体制の充実を図っております。海外販売代理店の数は、アジアや南米地域を含む72社まで拡大しており、新たにアルゼンチン、チリ、メキシコ向けの出荷体制の整備も進めたことから、今後も段階的な拡販を見込んでおります。

医療データプラットフォーム事業では、医療機関が保有する診療データを安全に匿名加工・仮名加工処理したうえで収集・統合し、医療研究機関や企業による研究開発、創薬支援、政策立案などに活用できる環境の提供を進めております。実臨床を反映した高付加価値な電子カルテデータの利活用を通じ、医療分野における研究開発の高度化及び効率化に貢献することを目指しております。また、次世代医療基盤法(注3)に基づく医療データの安全な利活用を推進するため、利用者が安全にデータを活用できる環境の運用開始に向け、体制整備を進めております。

- (注1) GAP：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000002  
 (注2) GAP-screener：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000003  
 (注3) 次世代医療基盤法：正式名称「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報及び仮名加工医療情報に関する法律」。診療・身体情報を含む患者の個人情報、個人が特定できないまで加工したうえで新薬開発や研究・治験等への二次利用を可能とする、医療データの利活用を推進するため制定された法律

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：千円)

	2025年12月期	2026年12月期 第1四半期	増減額
資産合計	6,807,858	6,956,963	149,105
負債合計	1,340,763	1,278,420	△62,342
純資産合計	5,467,095	5,678,543	211,448

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、6,956,963千円となり、前連結会計年度末と比較して149,105千円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加445,326千円を主な要因とする流動資産の増加109,656千円によるものであります。

負債は、1,278,420千円となり、前連結会計年度末と比較して62,342千円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少44,501千円を主な要因とする流動負債の減少62,984千円によるものであります。

純資産は、5,678,543千円となり、前連結会計年度末と比較して211,448千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加による株主資本の増加220,023千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の連結業績予想につきましては、2026年2月12日の通期決算短信で公表した内容から、現段階で変更はありません。今後、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,678,886	1,408,753
受取手形、売掛金及び契約資産	1,793,102	2,238,429
商品及び製品	164,166	104,448
仕掛品	7,232	4,369
原材料及び貯蔵品	19,964	19,084
その他	80,320	78,242
流動資産合計	3,743,671	3,853,327
固定資産		
有形固定資産	85,981	83,908
無形固定資産		
ソフトウェア	299,227	306,854
その他	344	344
無形固定資産合計	299,571	307,198
投資その他の資産	2,678,633	2,712,529
固定資産合計	3,064,186	3,103,636
資産合計	6,807,858	6,956,963
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	36,090	41,377
未払金	127,991	140,931
未払法人税等	345,067	300,565
その他	517,400	480,690
流動負債合計	1,026,550	963,565
固定負債		
株式給付引当金	314,130	314,785
その他	83	69
固定負債合計	314,213	314,855
負債合計	1,340,763	1,278,420
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	254,259	254,259
資本剰余金	225,785	225,785
利益剰余金	6,755,228	6,974,789
自己株式	△1,752,311	△1,751,848
株主資本合計	5,482,962	5,702,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,005	△57,865
その他の包括利益累計額合計	△42,005	△57,865
非支配株主持分	26,138	33,423
純資産合計	5,467,095	5,678,543
負債純資産合計	6,807,858	6,956,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,951,584	1,989,888
売上原価	604,432	580,820
売上総利益	1,347,151	1,409,068
販売費及び一般管理費	523,619	605,365
営業利益	823,532	803,702
営業外収益		
受取利息	12,296	12,527
為替差益	—	8,499
補助金収入	2,029	—
受取ロイヤリティー	1,660	—
その他	1,745	387
営業外収益合計	17,733	21,414
営業外費用		
自己株式取得費用	106	—
営業外費用合計	106	—
経常利益	841,158	825,116
税金等調整前四半期純利益	841,158	825,116
法人税、住民税及び事業税	254,446	258,051
法人税等調整額	3,347	△3,350
法人税等合計	257,794	254,701
四半期純利益	583,364	570,415
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,069	7,284
親会社株主に帰属する四半期純利益	578,294	563,130

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	583,364	570,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,622	△15,859
その他の包括利益合計	△13,622	△15,859
四半期包括利益	569,742	554,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	564,672	547,270
非支配株主に係る四半期包括利益	5,069	7,284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス	合計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,741,883	189,802	19,898	1,951,584	1,951,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,741,883	189,802	19,898	1,951,584	1,951,584
セグメント利益又は 損失 (△)	740,069	133,119	△49,656	823,532	823,532

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス	合計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,822,281	103,038	64,568	1,989,888	1,989,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,822,281	103,038	64,568	1,989,888	1,989,888
セグメント利益又は 損失 (△)	778,240	32,021	△6,559	803,702	803,702

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及びソフトウェア償却費(市場販売目的のソフトウェア)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	7,431千円	8,896千円
ソフトウェア償却費	65,461	66,427

(追加情報)

(株式給付信託 (J-ESOP) における会計処理方法)

当社は、2015年10月29日開催の取締役会において、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して市場から購入した自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託 (J-ESOP)」を導入することを決議しております。

この導入に伴い、2015年11月13日から2015年11月26日の間に資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)

(現：株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)) が当社株式194,200株を取得しております。

当該株式給付信託に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じて、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債として連結貸借対照表上に計上する総額法を適用しております。

なお、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する自己株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しております。前連結会計年度末における計上額は101,983千円、株式数は132,200株、当第1四半期連結会計期間末における計上額は101,520千円、株式数は131,600株であります。

## 3. 補足情報

## (1) 経営管理上重要な指標の推移

	2025年12月期 第1四半期 連結累計期間	2026年12月期 第1四半期 連結累計期間	2025年12月期
売上高 (千円)	1,951,584	1,989,888	6,109,941
営業利益 (千円)	823,532	803,702	1,790,029
経常利益 (千円)	841,158	825,116	1,840,735
四半期(当期)純利益 (千円)	583,364	570,415	1,278,403
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	5,069	7,284	21,432
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	578,294	563,130	1,256,970
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	569,742	554,555	1,250,714
純資産 (千円)	5,919,745	5,678,543	5,467,095
総資産 (千円)	7,031,796	6,956,963	6,807,858
1株当たり純資産 (円)	230.84	231.27	222.91
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	22.53	23.07	50.07

(2) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績は、次のとおりであります。

事業部門	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
医療ビジネス	382,863	99.4
公共ビジネス	33,686	109.1
ヘルステックビジネス	33,953	107.7
合計	450,503	100.7

(注) 金額は当期総製造費用によるものであります。

② 受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況は、次のとおりであります。

事業部門	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
医療ビジネス	1,116,977	103.6	1,530,014	146.9
公共ビジネス	5,255	10.8	39,406	89.1
ヘルステックビジネス	30,750	283.3	—	—
合計	1,152,982	101.4	1,569,420	144.2

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

販売・サービス種類別	販売高 (千円)	構成比 (%)	前年同四半期比 (%)
医療ビジネス			
オンプレソフトウエア (うち代理店販売額)	1,069,232 (219,871)	53.7	107.8
サポート (うち代理店販売額)	429,910 (136,573)	21.6	101.9
クラウドサービス	40,070	2.0	—
コンサルティング	19,650	1.0	35.4
ハードウエア	141,586	7.1	84.8
その他	121,831	6.1	117.0
公共ビジネス			
クラウドサービス (うち代理店販売額)	102,533 (30,474)	5.2	54.2
その他	505	0.0	72.9
ヘルステックビジネス			
医療機器	15,318	0.8	77.0
医療データ	49,250	2.5	—
合計	1,989,888	100.0	102.0

(注) 当社グループの事業形態の変化をより適切に反映させるため、当第1四半期連結会計期間の期首より販売・サービス種類別を再編いたしました。なお、前年同四半期比については、変更後の区分に基づき再集計した数値を記載しております。